



グルモール

第8号

JAPANESE SCHOOL, NEW DELHI 2023 令和5年12月4日(月)

子どもたちに豊かな体験を

校長 尾後貫 智

令和5年もあとひと月をのこすばかりとなってしまいました。日中はさほどではありませんが、朝晩は少し冷え込むようになってきました。やっと暑さから解放されたと思いきや今度はスモッグです。学校では、放送委員の子どもが毎日朝の放送でその日の大気の様子を数字で発表して、休み時間に外へ出て遊べるかどうかを全校児童生徒に知らせています。また外で遊べない日は3台の空気清浄機を要所に配置してある各教室で過ごすようにしています。

さて、本校では子どもたちの発達段階に応じた様々な体験活動を実施しています。外部から学校へゲストティーチャーを招いて行う特別授業や、実際にその場に足を運ぶ社会科見学、またインドの文化に直接触れたり参加したりする体験活動などがあります。ふだんの教室での学習が主に視覚と聴覚を中心に行われる学習であるのに対して、体験学習は児童生徒の五感にはたらきかけ直接肌で感じる点ができる点が大きなメリットです。

同じように読書も「体験」と言えます。読書で登場人物に感情移入しているときの脳は、体験しているときの脳と同じ動きをしていると言われているからです。自分一人の体験には限界がありますが、読書では疑似体験することができます。本を読んだことがきっかけで、「これを体験してみたい」と思うことや、子どもたちの視野を広げ、想像力をかき立て、それまで自分の知らなかった新たな世界を知ることできます。そのため、子どもうちに豊かな読書体験を重ねてほしいと願っています。

学校での学習が体験重視なのは、体験が人格形成に大きく影響するからです。振り返ってみますと、「今の自分をつくっているのは、あの体験があったからだ」と思える体験が誰にでもあると思います。在外での体験活動実施には安全面など様々な制約があります。今後も各学年の発達段階に応じた様々な体験活動を可能な限り実施していけたらと考えています。

今月は個人面談でお子さんのご家庭での様子をお聞かせいただく機会があります。一人一人の子どもたちへよりよい指導をしていきますよう、保護者の皆様と話し合っていきたいと思えます。ご協力よろしくお願いたします。

トピックス

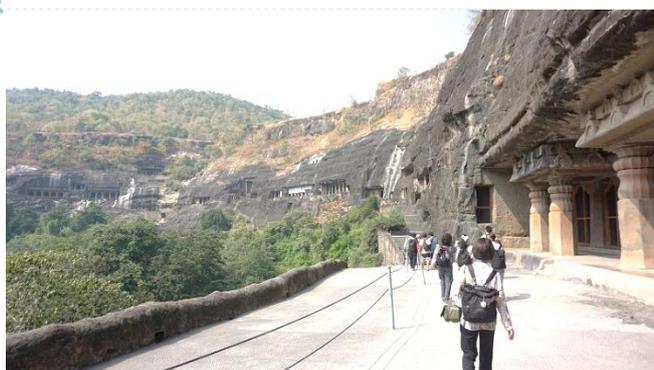
さわやかなディワリ休業を満喫しました！

11月12日にインドの一大行事であるディワリを迎え、本校では11月11日～11月19日の間、ディワリ休業を実施しました。これまでのインドとは思えないほど、涼しい毎日を過ごすことができました。

しかし、最近の大気汚染は深刻になりつつあり、健康管理には十分に気を付けていきたいと思います。

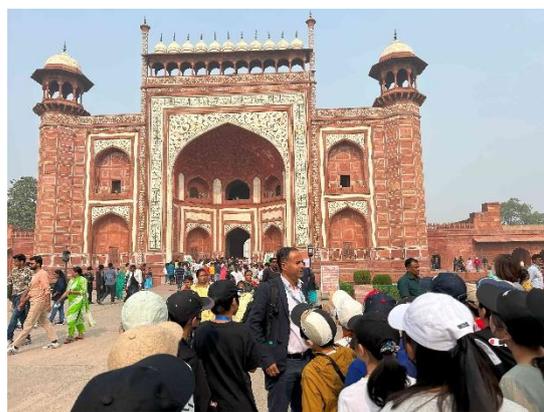
1日～3日 G8 修学旅行 アウランガバード (アジャンタ・エローラ)

4年ぶりの飛行機を利用したG8のアジャンタ・エローラへの修学旅行。インドの文化と歴史を肌で感じる貴重な2泊3日となりました。舞踊体験、アジャンタ石窟寺院見学、エローラ石窟寺院見学など「百聞は一見に如かず」の言葉通り、教室では学べないものを学んだ修学旅行でした。



23日～24日 G5 集団宿泊学習 ～アグラ～

G5では「集団宿泊学習」として、アグラのタージ・マハル、アグラフォートで楽しく充実した2日間を過ごすことができました。タージ・マハルの壮大な建築を間近で見て、心を奪われ、インドの偉大な歴史に改めて感動していました。



小学部 JAL 航空教室

11月8日、日本航空（JAL）様の協力により、航空教室を実施しました。
当日は日本からのキャビンアテンダント、ニューデリー支店のグランドスタッフをお迎えしました。また、オンラインでパイロットにも参加していただきました。
G5、G6は教室で世界を舞台に活動される仕事についてお話を聞き、その後は小学部全員が体育館で紙折飛行機を製作、各自で飛ばす活動を行いました。
今後の自分の将来を考えることに役立てていってほしいと思います。



◆児童生徒在籍者数（11月30日現在）

	男子	女子	計
小1年	11	16	27
小2年	17	12	29
小3年	8	14	22
小4年	10	17	27
小5年	14	17	31
小6年	13	8	21
中1年	14	11	25
中2年	10	3	13
中3年	4	9	13
スーリヤ	2	0	2
計	103	107	210

児童生徒の安全管理について

アフターコロナの時代を迎え、学校から校外活動に出る機会も多くなってきました。

今後、校内外を問わず、児童生徒の安全管理を徹底するため、本校での危機管理の意識を高めていきます。

- ・不審者や、野生動物からの被害にあわないようセキュリティー要員を確保する。
- ・大人への確実な連絡体制を整え、心配なことはすぐに近くの大人（先生）に連絡するよう徹底する。